

ワスレナグサ

Myosotis scorpioides

ムラサキ科

名前の由来

ドナウ川の岸边に咲いていたこの花を、恋人に摘んでやろうとして川に落ちた青年が、急流にのまれる前に恋人に花を投げ、「私を忘れないで！」と叫んだという伝説による。英名はforget-me-not。漢字名：勿忘草



ワスレナグサ

形態的特徴

高さ20~40cm程で、基部はよく地を這い節から根を出し、上部は立ち上がる。茎は稜角があり、上部では太く上向きの短毛があるが、下方に近づくにつれて少なくなる。葉は長楕円形で、基部は茎の半分ほどを取り囲むように抱き、互生する。葉の両面に太く短い毛がある。花は直径8mmほどで、5片に深く切れ込み、淡青色で中心部は黄色い。がくには押し付けられた圧毛がある。茎上部に多数の花があつまり、かま形の巻散花序になる。花序の先端は初め、らせん状に丸く巻き込む。

類似種と見分け方：エゾムラサキ、キュウリグサ。

エゾムラサキはがくの切れ込みがワスレナグサより深い。

またがくに生える毛は、エゾムラサキは少し立ち上がって鉤状になるのに対し、ワスレナグサでは押し付けられた圧毛になっている。キュウリグサは花の径が2mm程と小さく、葉をもむとキュウリの臭いがする。



ワスレナグサ



類似種、エゾムラサキ

生育環境・分布

水際などの湿ったところ。特に砂・泥質の水辺ではしばしば群生する。

分布：国外分布は、ヨーロッパ原産で、各国で観賞用に栽培されている。

国内分布は、中部以北から北海道。

北海道内分布は、桧山、根室以外の全道で確認されている。十勝地方では、水際などの湿ったところ。特に砂・泥質の水辺ではしばしば群生する。

生活史

開花時期：6~8月。開花までの年数：不明。寿命：多年草

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■観賞用に輸入されたものが1950年代から長野県や北海道で逸出し、野生化した。園芸品種として改良、交雑育成されて青をはじめ桃色、白色の花をつけるものが今でもよく売られている。

■14世紀、イギリスのヘンリー四世は、ワスレナグサを使

った図柄を自分の紋章の一つとし、以後ランカスター家のシンボルになった。スイスやドイツでは恋を成就させる魔法の草と信じられていた。

■花言葉は「私を忘れないでください」。

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期			■									

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙譲 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅲ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1981

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗柏書房 1996

「花のおもしろフィールド図鑑 春」ビッキオ 実業之日本社 2001

「山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花」林弥栄 山と溪谷社 1989

魚類

底生動物

両生虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 花

(外来種) 花

哺乳類

(鳥水辺) 類

(葦原鳥林) 類
ワシ・タカ